

中国24年新車販売最高

3143万台 新工ネ車好調 4割に

【北京＝山下福太郎】2024年の中国の新車販売(輸出を含む)は、新工ネ車(輸出を含む)は、新工ネ車は前年比4.5%増の3143万台だった。このうちEVやプラグインハイブリッド車(PHV)などの新工ネ車は35.5%増の1120万台を超え、全体に占める割合も4割に達した。



中国では新工ネ車のうちEVの販売が大部分を占めてきたが、近年は、エンジン車とEVとの移行が進んでいる。24年のEV販売の伸び率は2割以下だが、PHVは8割超の伸びを記録した。新車販売のうち中国国内分は2557万台と1.6%増にとどまった。景気が低迷する中、政府は購入補助金を出したが、効果は限定的だった。一方で輸出分は19.3%増の585万台と全体を引っ張った。同協会は、25年の新車販売台数を24年比4.7%増の3290万台と見込み、輸出も5.8%増の620万台と予想する。

だが、PHVは8割超の伸びを記録した。新車販売のうち中国国内分は2557万台と1.6%増にとどまった。景気が低迷する中、政府は購入補助金を出したが、効果は限定的だった。一方で輸出分は19.3%増の585万台と全体を引っ張った。同協会は、25年の新車販売台数を24年比4.7%増の3290万台と見込み、輸出も5.8%増の620万台と予想する。

効率化につながるシステムの開発などを検討しており、2025年度中に一部サービスの提供を目指す。企業の複数部門に分散するデータを、全社で一元的に利用できるようにしたり、文書作成に生成AIを活用して作業を効率化したりするシステムを想定している。従業員の健康データも環境に優しいものが選ばれる時代はAI(人工知能)を活用した節電効果を、従来製品の最大約30%から約35%に高めた。市場想定価格は税込み34万円前後、41万円前後。

企業の魅力エンタメ動画に

社長が相撲に挑戦、社員らの朝のルーチン(日課)を披露。大手企業が動画投稿サイト「ユーチューブ」を活用した独自コンテンツの発信を強化している。自社製品のサービスなどの宣伝にとどまらず、従業員や企業トップがプライベートやコミカルな一面を披露するエンタメ色の強い動画も多い。各社は顧客との接点獲得に知恵を絞っている。(寺田航)

最新のAI(人工知能)技術や関連製品を集めた展示会「AI博覧会」が22日、大阪市内で2日間の日程で始まった。4月開幕の大阪・関西万博を控え、国内外から注目を集めやすいため、大阪で初めて開催した。

最新AI技術大阪に集合

自然な会話を可能にした。クマは万博について「AIや持続可能な開発に関する展示が注目されているクマ」などと答えている。AIを活用して会話するぬいぐるみ。マイクで話しかけると、体を横に揺らしながら答える(大阪市中央区で)

再生プラ使用増 冷蔵庫来月発売 シャープは22日、再生プラスチックの使用割合を最大で従来製品の2.8倍に高めた家庭用冷蔵庫5機種を、2月に順次発売すると発表した。これまでは外側のカバーや取っ手といった目立たない部分に使っていたが、消費意識の高まりや、環境意識の高まりを踏まえ、空気を送るダクトや開閉切りなど、庫内に初採用した。これら5機種は、昨年発売した薄型冷蔵庫「F1T63」シリーズの新型機。再生プラスチックは、冷蔵庫の野菜室のケースから再生加工されたものを活用する。担当者は「家電も洋服と同様に、環境にやさしいものを選ぶ時代はAI(人工知能)を活用した節電効果を、従来製品の最大約30%から約35%に高めた。市場想定価格は税込み34万円前後、41万円前後。

「まさか自分がまわしを締めるとは思わなかった。そう言いつつ、土俵に立つのは電気事業連合会の前会長で、九州電力の池田和弘社長(66)。自社の相撲部のPRを兼ねた九電の動画で、力士になりきった池田社長が四股を踏んだり、ぶつかり稽古に挑んだりしていた。

「堅い会社」というイメージを覆す内容を受け、視聴回数は4万回を超えた。広報担当者は「顧客からも驚きの声が届いている。これから、ユニークな形でユーチューブの動画は制作コストが比較的安く、機

社長が力士姿・店の「裏側」紹介

動的に作りやすい。IT大手グループの日本法人による。18歳以上の国内の月間視聴者数は7370万人に達している。テレビCMなどの広告と比べて、企業が動画で商品情報などを直接発信する先駆的事例の一つが、「ニンテンドーダイレクト」ときの。登録

約4100万人増加した。日本を含むアジア太平洋地域では約1200万人増んだ。

万博控え 展示会

最新のAI(人工知能)技術や関連製品を集めた展示会「AI博覧会」が22日、大阪市内で2日間の日程で始まった。4月開幕の大阪・関西万博を控え、国内外から注目を集めやすいため、大阪で初めて開催した。

再生プラ使用増

シャープは22日、再生プラスチックの使用割合を最大で従来製品の2.8倍に高めた家庭用冷蔵庫5機種を、2月に順次発売すると発表した。これまでは外側のカバーや取っ手といった目立たない部分に使っていたが、消費意識の高まりや、環境意識の高まりを踏まえ、空気を送るダクトや開閉切りなど、庫内に初採用した。

鏡に広告映像

AGCは、映像を流すことができるディスプレイ型の鏡を活用し、オフィス向けに新しい広告サービスを開発すると発表した。まずはビル内のトイレの鏡で実証実験を始め、広告の効果や課題を分析する。2025年度中の事業化を目指す。

34年度電力需要 5%増の見通し

電力供給を調整する国の認可法人「電力広域的運営推進機関」は22日、2034年度の国内の電力需要が8524億ワット時と、24年度(推計8059億ワット時)より5%程度増えるの見通しを発表した。データセンターや半導体工場の増加を要因としている。

やはり赤坂御用地からは通えない?

悠仁さまの「軒家」探し

大学が目を付けた丸の内線エリアの学生寮の改修も視野に、マンションは論外の理由

中居正広 問題で表面化した「フジテレビの病巣」

不正経理「異様な社風」

女性社員が告発する「セクハラ」「パワハラ」

小室日米団体 日本へ凱旋決意

大谷を支援する「真美子夫人の完璧な献身」

女性週刊誌「1/1」

2月6日号(特別価格490円) 小学館

生命保険で得する

家族会議の開き方

みのもんた重体焼肉が喉に詰まると

ママはいつもつげまっげ

神津はづき 母・中村メイコとドタバタ喜劇

阿川佐和子 爆笑大絶賛!

週刊新潮

1月30日号/定価510円(税込)